

特色あるカリキュラム

1. プロフェッショナリズム

看護のプロフェッショナル（高度専門職業人）として倫理的であるために必要な能力と、生涯にわたり自発的にキャリア開発を継続する基本的能力を涵養するため、リサーチマインド、コミュニケーション、倫理観、ライフキャリアデザインの構築等を学ぶ科目を、1年次から4年次まで発展的に学ぶことができるようにカリキュラムの中に配置しています。（コンピテンシー(2)、コンピテンシー(3)）

教育課程表区分	授業科目名	履修年次
健康科学	生命倫理学Ⅰ	1年次
健康科学	生命倫理学Ⅱ	1年次
健康科学	行動科学	1年次
基盤看護	キャリア開発入門	1年次
看護学研究	リサーチマインド	1年次
基盤看護	キャリア開発方法	2年次
基盤看護	看護コミュニケーション論	2年次
看護学研究	看護学研究概論	2年次
基盤看護	看護倫理	3年次
基盤看護	キャリア開発とプロフェッショナリズム	4年次
看護学研究	看護学研究実践論	4年次

2. ふくい看護力

本学看護学科のミッション『強みや特色などの役割』は、「地域社会のニーズに対応できる看護職を育成する。特に、急速な高齢化社会に対応する多職種協働による在宅医療を推進し地域医療の核となる人材を養成する。」と定義されています。グローバルな視点でふくいの医療・保健・福祉の現状と課題を踏まえ、地域社会のニーズに対応できるよう、在宅看護、多職種連携、地域包括ケア等の科目を、1年次から4年次まで発展的に学ぶことができるようにカリキュラムの中に配置しています。（コンピテンシー(7)、コンピテンシー(8)）

教育課程表区分	授業科目名	履修年次
共通教育	大学教育入門セミナー	1年次
共通教育	地域コアⅢ（選択）	1年次
看護と社会	ふくい看護論Ⅰ	1年次
看護と社会	ふくい看護論Ⅱ	1年次
看護と社会	公衆衛生看護学概論	2年次
看護と社会	ふくい在宅看護論	2年次
臨地実習	在宅看護学実習	3年次
臨地実習	地域ケア実習	3～4年次
看護と社会	ふくい看護論Ⅲ	4年次

3. 保健師教育

社会の多様な健康課題に対応できる保健師養成（選択制）のため、保健師国家試験受験資格に必要な科目を、1年次から4年次まで発展的に学ぶことができるようカリキュラムの中に配置しています。

教育課程表区分	授業科目名	履修年次
共通教育	医療経済学入門（選択）	1～2年次
保健統計	疫学（選択）	3年次
保健統計	保健統計論（選択）	3年次
看護と社会	公衆衛生看護技術論（選択）	3年次
看護と社会	公衆衛生看護展開論Ⅰ（選択）	3年次
看護と社会	公衆衛生看護展開論Ⅱ（選択）	3年次
看護と社会	公衆衛生看護管理論（選択）	3年次
看護と社会	国際保健論（選択）	3～4年次
看護と社会	学校保健論（選択）	3～4年次
看護と社会	産業保健論（選択）	3～4年次
臨地実習	公衆衛生看護学実習（選択）	3～4年次

4. 助産師教育

福井県で唯一の統合カリキュラムによる助産師養成機関として、母子とその家族および女性の生涯の健康を支援できる助産師養成（選択制）のため、助産師国家試験受験資格に必要な科目を、1年次から4年次まで発展的に学ぶことができるようカリキュラムの中に配置しています。

教育課程表区分	授業科目名	履修年次
生涯発達看護	ライフサイクル論Ⅰ	1年次
生涯発達看護	ライフサイクル論Ⅱ	1年次
生涯発達看護	ライフサイクルとセクシュアリティ（選択）	2年次
生涯発達看護	子どもの発達と障がい看護論（選択）	2年次
生涯発達看護	育児援助論（選択）	2年次
生涯発達看護	助産学概論（選択）	3年次
生涯発達看護	助産管理（選択）	3～4年次
生涯発達看護	助産診断・技術学（選択）	3～4年次
生涯発達看護	助産学実践方法論（選択）	3～4年次
臨地実習	助産学実習（選択）	4年次

5. 看護学英语

基礎的なコミュニケーションおよび看護学知識を論文等から修得するために必要な英語力と看護学英语の知識を学べるように、外国語科目としての基本的英語科目とともに、看護学英语を学べる科目を、学年を超えて学べるようにカリキュラムの中に配置しています。（コンピテンシー(1)）

教育課程表区分	授業科目名	履修年次
共通教育	英語Ⅰ	1年次
共通教育	英語Ⅱ	1年次
共通教育	英語Ⅲ	2年次
共通教育	英語Ⅳ	2年次
基盤看護	看護英語Ⅰ（選択）	2年次
基盤看護	看護英語Ⅱ（選択）	3年次
臨地実習	キャリアアップ実習（選択）	3～4年次
看護学研究	看護学研究実践論	4年次